



苦難を乗り越え、迎えた最後の夏



発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
(FAX 21-0172)

8・9月号



思いの全てを出し切った

授業の未来

校長 荻須 文裕

映画「二〇〇一年宇宙の旅」は、今

から五十年以上も前の作品です。とても美しい映像と、また、それにマッチした音楽が印象に残っています。監督は、スタンリー・キューブリック、脚本は、キューブリックと、当時、SF小説界の第一人者といわれたアーサー・C・クラークが手掛けています。

映画に登場する巨大な宇宙ステーションや月面基地は、二〇二〇年の現在でも、実現までには長い道のりがかかりそうです。一方、話の展開で大切な部分を担っている人工知能は、急速に発展している分野です。近い将来には、映画に登場するようなAIができるかもしれません。

二期から、全生徒がマイPadを手にして授業を受けるようになりました。様子を見ると、物珍しそうに迷いながら触っている人もいれば、とても速く指やペンを動かして入力する人もいます。一日中手元にあるアイテムの一つとして、毎日、学習のさまざまな場面で使うことが当たり前になることでしょうか。ノートのように記録することもあれば、分からないことを調

べることもできます。また、自分がまとめたことを友達へ伝えたり、考えを出し合って考えを深めたりするために使えます。一人で行うドリル学習でも、大きな力を発揮するでしょう。

春の新型コロナウイルスによる学校休業時には、オンライン授業の必要性が話題になりました。残念ながら、その時には、まだ準備ができていませんでした。しかし、Padの登場で環境は整いつつあります。次は、ハード面だけでなく、オンライン授業のノウハウを研究する必要があります。葵中の先生たちも、どのようなオンライン授業がよいのか、話し合いを始めています。コロナ禍でなくても、何年後には、

オンライン授業が日常的に取り入れられる時代となるかもしれません。授業は、大きな転換期を迎えています。

「二〇〇一年宇宙の旅」では、地球外生命体の作った大きな石板が、四〇〇万年前の猿人に知恵を与えたことから、人類の進化が始まったとされています。

Padのような機器の名称の「タブレット」には、石板という意味があります。エジプトやメソポタミア文明の楔形文字くわがたを記した石板もタブレットです。タブレットは、私たちの学び方を大きく変えていくことでしょうか。

市長杯の軌跡

団体の部
優勝

サッカー部

バスケット部男子

剣道部男子

準優勝

ハンドボール部

柔道部

三位

テニス部女子

個人の部

水泳部男子

一〇〇m平泳ぎ

五〇m背泳ぎ

四×一〇〇mMR

水泳部女子

二〇〇m自由形

五〇m背泳ぎ

陸上部女子

砲丸投げ

一〇〇mH

一五〇〇m



優勝 二位 三位 優勝 三位 三位 優勝 三位

岡崎中学校新人総合体育大会

僕らの時代がやってきた

令和二年九月三〇日～十月四日

自分で考えて行動する

野球部

新チームになり、僕たちは毎日、基礎練習を繰り返して行い、一人一人が努力を積み重ねてきました。この大会で意識したいことは、一人一人が指示を待たずに自分で考えて行動することです。先輩が引退してから初めての大会です。新人戦では、今までやってきたことを思い出して、先輩が果たすことができなかった優勝を目指し、全力で戦ってきます。



一球一球 大切に

ソフトボール部

私たちは人数が少ないからこそ、どのチームよりも声を出し、つらくても弱音を吐かず頑張ってきました。一つのアウトを取ることに集中し、一球一球大切にプレーをしてきます。そして、全員が仲間を思って試合をし、ミスをしていても励ましの声を掛け、どんなとき

でも笑顔でプレーしていきたいです。新人戦では、楽しく全力で試合をし、笑顔で終われるように頑張ります。

先輩を目標に

バスケット部男子

新チームになって初めての大会です。この大会は、西三河、県とつながる大事な大会となります。今年のチームは、まだまだ意識、技能、気持ちなど、これまでの先輩たちと比べると足りないことがたくさんあります。先輩たちが作り上げてきた伝統「小さくても勝てるチーム」を引き継ぎ、先輩たちに負けないようなチームを作ります。まずは、一つ一つ力を付けながら新人戦の結果につなげていきます。

チーム一丸となって

バスケット部女子

新人戦ベスト4。これが私たちの目標です。先輩たちが引退し、不安の中、新チームが始まりました。試合で勝つために、みんなで声を掛け合いながら、基礎練習や体力づくりに励んできました。チームプレーなどでうまくいかなかったこともまだまだたくさんあります。でも、チーム一丸となって、一試合でも多く試合ができるように、全力でプ

レーします。

自分に勝つために

陸上部男子

三年生の先輩が引退し、「自分に打ち勝つ」練習を心掛け、仲間とともに頑張ってきました。

自分の走りをもう一度見直し、仲間同士で改善すべきポイントを伝え合い、どんなときでもよい走りができるようにしてきました。

記録がど

んどん上がり自信がつき、納得がいく走りができるようになります。新人戦では、チーム全員がよい記録が出せるよう、これまで通りお互いに改善すべきところを伝え合いながら臨みます。



受け継がれるバトン

陸上部女子

三年生が引退して新しいチームになり、初めての大会です。先輩方の思いの詰まったバトンを受け継ぎ、毎日暑い中練習に励んでいます。

私の種目はハードルです。リード足をすばやく下ろし、力強く進んでいくことを意識して、目標タイムを切りた

いす。新人戦では、一人一人がベストを尽くせるように、全力で頑張ります。

チーム全員でベストを尽くして

水泳部男子

新チームになって初めての大会である新人戦。この大会に向けて、「三位以内に入賞」を目標に練習に励んできました。一回一回の練習、一本一本の泳ぎに力を入れて泳ぐのほもちろん、仲間とアドバイスをし合い、苦しい練習にも声を掛け合いながら励まし合い、夏の練習を乗り越えてきました。



大会では、個人種目では優勝できるように頑張り、チーム一丸となって新人戦でベストを尽くしたいです。

全力で

水泳部女子

本番では、練習してきた成果を出して少しでもベストを出して全力で泳ぎたいです。そして、練習してきた成果を全員が発揮してみんなが最後に、「やりきった」と思えるように泳ぎます。新型コロナウイルスの関係で声を出した応援ができなくても、心の中で「頑張つて」と、みんなで応援していき

いす。私たちは人数が少なく、リレー種目には出られないけれど、その分、個人の種目で一位を目指して頑張りたいです。

一球入魂

卓球部男子

僕たち男子卓球部は、顧問の先生のご指導の下、日々練習に励んでいます。卓球の団体戦は、個人戦の集まりです。一人一人が自分に与えられた場所、最後まで諦めず、粘り強く「自分の卓球」ができるように、積極的に点を取りに行くことを心掛けていきます。そして、チームが一つになって優勝できるように頑張ります。

チーム全員が一人一人

卓球部女子

私たちのチームは、人数は少ないですが、考え方が様々で、なかなか意見がまとまらないことがあります。

しかし、新人戦に向けて、話し合いを重ね、チーム全員で「優勝」という大きな目標を立てました。そのため、一人一人が課題を見つけ、集中して練習に取り組んでいます。

新人戦では、一試合ごとに成長しながら、チーム全員で戦っていきたくたいです。

練習で積み上げたもの

テニス部男子

昨年度春に開催されるはずだった一

年生大会は中止となったため、今回の新人戦が初めての大会となります。夏の日差しは強く、練習がつらいときもありましたが、努力した分、楽しみな気持ちも大きくなっています。大会に向けて一丸となって頑張ったこと、そして迎える初めての大会は、中学校生活の大切な思い出になるはず。そして、初めての大会をさらに思い出深いものにするために、仲間と積み上げた絆を武器に、みんなで勝利を勝ち取りたいと思います。

練習で積み上げたもの

テニス部女子

三年生の先輩方の、あの夏の活躍から約二か月が経ちました。私たちも先輩方のようにコート駆け回れるようになりました。

初めての大会ですが、チームの目標である団体戦ベスト4を達成するために、最後までチーム一丸となって頑張ってきました。



どんなときも、ペアの子や仲間と声を掛け合い、明るく、そして楽しく、笑顔でプレーをします。

「勝つぞ!! 葵」

優勝に向けて

剣道部男子

男子剣道部の先輩方は、苦しい展開でも必ず一本を取ってきました。そして、ほとんどの試合で勝ってきました。僕はその姿を見て、先輩方のようになりたい、先輩と同じように、自分たちの代も結果を残したいと思い、これまで一生懸命に練習してきました。新人戦は新しいチームになって、初めての大会です。チームで協力して勝っていきけるように、大会までにしっかり練習をして、自信をもって臨みたいです。そして、優勝という目標に向かって頑張りたいです。

全力を出し切る

剣道部女子

先輩方が引退されてから、私はすごく後悔しました。もう先輩が稽古している姿を見て学べないからです。そのため、これからは私たちの学年がこの部を引っ張っていかなければならないという責任感と、緊張感をもって、今まで以上に真剣に部活に取り組みむようになりました。

私たちの目標は優勝です。一人一人が全力を出し切って試合をしていきます。

新人戦ができることに感謝

ハンドボール部

僕たちは新チームになり、「ハンドボールを楽しむ」という目標を掲げ、



毎日の練習に励んできました。三月に開かれるはずだった一年生大会は、新型コロナウイルスの影響で中止となり、悔しく残念な思いを経験しました。この悔しさを、新人戦にぶつけていきたいです。

また、キャプテンとしての初の大会なので、みんなで楽しみ、「全力でやることができたい」と、チーム全員が思える大会にしたいです。

近づく新人戦

バレーボール部

新チームが始まってから一か月半、猛暑日が続く、新型コロナウイルス感染症予防対策や熱中症対策により、思うように練習ができませんでした。そんな中でも、仲間と一緒に意見を出し合い、話し合いながらチーム作りをしてきました。新人戦では、最後まで全力でボールをつなぎ、攻めのバレーをしてきます。そして、一つでも上位を目指し、バレー部全員で頑張ります。

優勝するために

サッカー部

僕たちサッカー部は一年生大会で、二回戦敗退という悔しい結果に終わっ

てしまいました。

新チームになり、僕たちは新人戦に向けて今までより努力し、練習に励んできました。最初は声も出すことができず、技術も劣っていました。日々の練習を重ねることで成長を実感しています。そんな僕たちが挑む新人戦では、成長した姿を見せられるように優勝目指して頑張ります。

合同音楽会に向けて

心をひとつに

吹奏楽部

新型コロナウイルス感染症の影響で思うように部活動ができない時期が続く、夏のコンクールもなくなっていました。

そのような状況の中で、部活動が再開して練習ができるようになり、中学校連合音楽会が開催されることが決まりました。練習できることに感謝し、

今自分たちができることに全力で取り組み、みんなで心をひとつにして、最高の演奏ができるように頑張ります。



表彰の記録

県通信陸上大会
二年一〇〇m 優勝
市民陸上大会
一〇〇m 優勝
二〇〇m 優勝
一〇〇m H 二位
走高跳 優勝
走幅跳 二位

今後の予定

九月
二五日(金) 授業参観・新人戦激励会
二八日(月) 教育実習開始
三十日(水) キッズデイズ(～十月四日) 新人戦開始

十月
七日(水) 中間テスト(～八日)
十日(土) 校内クリーン活動
一二日(月) 海の学習(一年)(～一三日)
一四日(水) 伊賀川プロジェクト(二年)
一六日(金) 私立高校説明会(三年)
一九日(月) 前期総会
二四日(土) 西三駅伝大会
三一日(土) 体育大会(学年別開催)

新型コロナウイルス感染症の対応による校内外の行事の縮小や変更を考慮し、葵中新聞の発行が不定期となります。ご了承くださいませようお願いいたします。

葵が丘

「幸せ」のために

二年学年主任 高橋 遼

保護者の方はもちろん、我々教職員も同じように求めているところ。それは子供たちの「幸せ」。しかし今、その「幸せ」の形も、その「幸せ」への道筋も明確なものはない。

葵中生のみんな。知っておいてほしい。大人たちは本気で君たちの幸せを願っている。君たちの幸せを願い、言葉を選び、行動を選び、手探りの状態ながら、君たちに何かを伝え、君たちに何かを求める。

素直に受け止められないときもあるだろう。信じられないときもあるだろう。距離を置きたくなるときもあるだろう。それでもいいと思う。

大人からの言葉や求められたことに対して、それを疑いながらも、それでもなお自分で考え抜き、未来の自分が幸せになるために今必要なことを判断し、精いっぱいに行動に移してもらいたい。それが「自律」である。

大人の皆さん。子供にとって今何が正解なのかわからない。だからこそ対話を重ねてほしい。あなたの幸せを心から願っているということ。そのためにも、考えうる全てのことをあなたにぶつけているということ。

ゴールはシンプル。きつと伝わる。そして、きつと子供たちは動き出す。